

県民のくらしと共に

公営企業

電気

水道

工業
用水

地域
開発

県民のくらしと共に

富山県公営企業のあらし

富山県企業局は、富山県が経営する公営企業です。

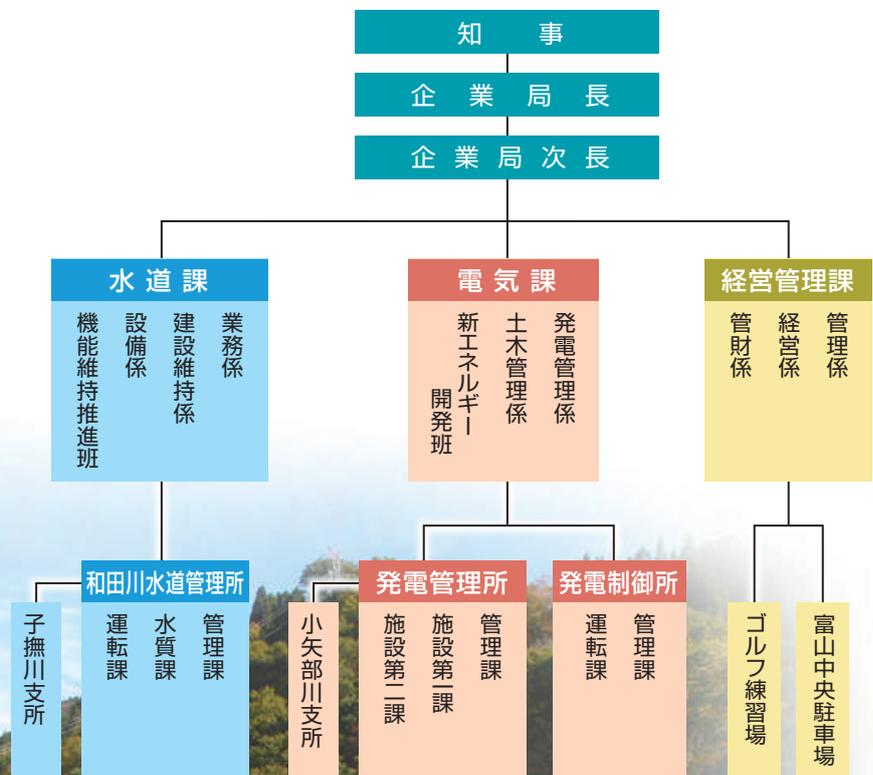
富山県の一般の行政と同様に県民の福祉の増進を目的としていますが、その活動に要する経費が、税金ではなく利用者の負担する料金によってまかなわれるところに大きな特徴があります。

企業局では、富山県の恵まれた自然環境を活かしながら、電気事業、水道事業、工業用水道事業及び地域開発事業の4事業を運営しています。

今後とも、「県民のくらしと共に」を念頭に、県民の安全で快適なくらしを支えていきます。



▼富山県企業局 組織図



〈目次〉

県民のくらしと共に.....	3	工業用水道事業	16
富山県企業局のあゆみ	4	事業施設の概要	18
富山県企業局施設一覧	5	地域開発事業	20
電気事業	6	SDGsと企業局の取組みの関係.....	20
事業施設の概要	8	富山県企業局経営戦略.....	21
水道事業	12	沿革	22
事業施設の概要	14		



○ 電気事業

企業局は、富山県の豊富な水資源を活用し、古くから水力発電を行ってきました。また、近年では再生可能エネルギーの導入を促進するため、小水力発電や太陽光発電にも取り組んでおり、従来の水力発電所と合わせて、合計21の発電所で発電を行っています。この電気を、電力会社を通じて各家庭や事業所へ供給しています。



○ 水道事業

水は、私たちが文化的で、快適な生活を送るために欠かせない大切なものです。企業局では、快適な生活を支えるために、安全・安心な水を高岡市、射水市、氷見市及び小矢部市の4市に安定的に供給しています。



○ 工業用水道事業

工業用水は、「産業の血液」とも呼ばれ、産業活動に欠かせないものです。企業局では、良質で低廉・豊富な工業用水を安定的に供給しており、富山県が日本海側屈指の工業県として発展するにあたり、重要な役割を担ってきています。



○ 地域開発事業

市街地における交通施策の一環として、富山中央駐車場を運営しています。

県民のくらしと共に

富山県企業局のあゆみ

「水の王国とやま」～富山県はきれいでおいしい水が豊富にあります。

しかし、その恵みは決して座して得られるものではなく、

治水砂防の仕事を怠ることなく続けているからこそのものです。

富山県のあゆみはまさに「治水から利水へ」そのものです。

ここでは、豊富な水をくらしや産業に利用すべく取り組んできた企業局のあゆみをご紹介します。



1 禍を転じて福と為す

富山県の電気事業の創業は古く、大正9年に始めた県営電気事業にさかのぼります。

富山県は急流河川が多く、たびたび洪水を引き起こしていました。そのため、人命や財産に莫大な被害をもたらす暴れ川を治めることは、県政の最大の課題でした。「電気事業経営の趣旨」にも、「県税ハ制限率ノ三倍ヲ超過シ、(中略)財政窮乏其ノ極ニ達セリ」とあり、とてつもなく苦しい状況がうかがえます。

県営発電事業は治水費に多額の予算をつぎ込まざるをえない県財政にとって、川を治め、産業を興し、苦しい財政を賄う、という三つの効果が期待できる、まさに一石“三”鳥の「禍を転じて福と為す」もので、大正9年6月18日に電気局を設置し、常願寺川水系で事業に着手しました。大正13年4月、上滝、松ノ木、中地山発電所が運転を開始したのを始め、昭和11年までに常願寺川、黒部川水系で7つの発電所を建設しました。

しかし、太平洋戦争のさなか、昭和17年、国策により営業中の7発電所と、有峰など建設中の4発電所が日本発送電(株)に出資、譲渡され、ここに最初の県営電気事業は幕を閉じました。

2 県営電気事業の再出発 ～企業局の発足～

戦後の復興が進むとともに、全国的に深刻な電力不足に悩まされました。富山県は、昭和27年3月、全国に先駆けて「総合開発計画」を策定し、その「水政計画」において井田川総合開発事業を打ち出しました。翌28年10月には、土木部河港課に電気事業係を設け、大長谷第一発電所の建設に着手し、ここに県営電気事業が再出発しました。

昭和32年、電気局を設置し、電気事業は地方公営企業法の全面適用を受けて、事業の拡大・充実を図り、河川総合開発事業の一環として神通川、上市川、小矢部川、庄川の4つの水系で電源開発に取り組みました。

また、昭和30年代に入ると、人口の増加や工場の誘致が進み、水の需要が増え、地下水の汲み上げによる水位の低下や水質の悪化などが懸念されるようになりました。そのため、水道の水源地を河川表流水に切り替えることが全国的にも求められていました。

富山県では新産業都市建設計画の一環として、昭和39年に和

田川総合開発事業に着手し、その中で水道・工業用水道の開発に取り組みました。当時は、総合計画部で担当していましたが、昭和41年からは電気局がこれを引き継ぎ、昭和43年、和田川水道用水の供給を開始しました。以来、広域的な浄水施設の建設を進め、水道用水供給事業及び工業用水道事業を運営しています。

水道事業と工業用水道事業が本格化したのを機に、昭和45年10月に「電気局」を「企業局」に改め、ここに富山県企業局が発足しました。

3 県民のくらしと共に

2度のオイルショックを経て、平成3年までに4水系で16の水力発電所の建設を進め、昭和53年からは、水系毎に1つの発電管理所で運転を制御する方式を採用し、平成8年には4つの発電管理所での監視制御業務を発電総合制御所(のちに発電制御所と改組)に統合し、集中制御を開始するとともに、平成20年には発電管理所の設置等による発電管理体制の統合を行いました。

また、平成3年にはゴルフ人口の増大に伴って、工業用水道事業の附帯事業としてゴルフ練習場の営業を開始したほか、地域開発事業として富山市の中心市街地で「富山中央駐車場」の営業も行っています。

近年においては、再生可能エネルギーの導入を促進するため、農業用水路や河川の未利用落差を活用した小水力発電所である仁右エ門用水発電所、庄発電所、小摺戸発電所、上百瀬発電所を稼働させたほか、県の遊休地を活用した富山新港太陽光発電所を稼働させるなど、環境にやさしい取り組みを進めています。

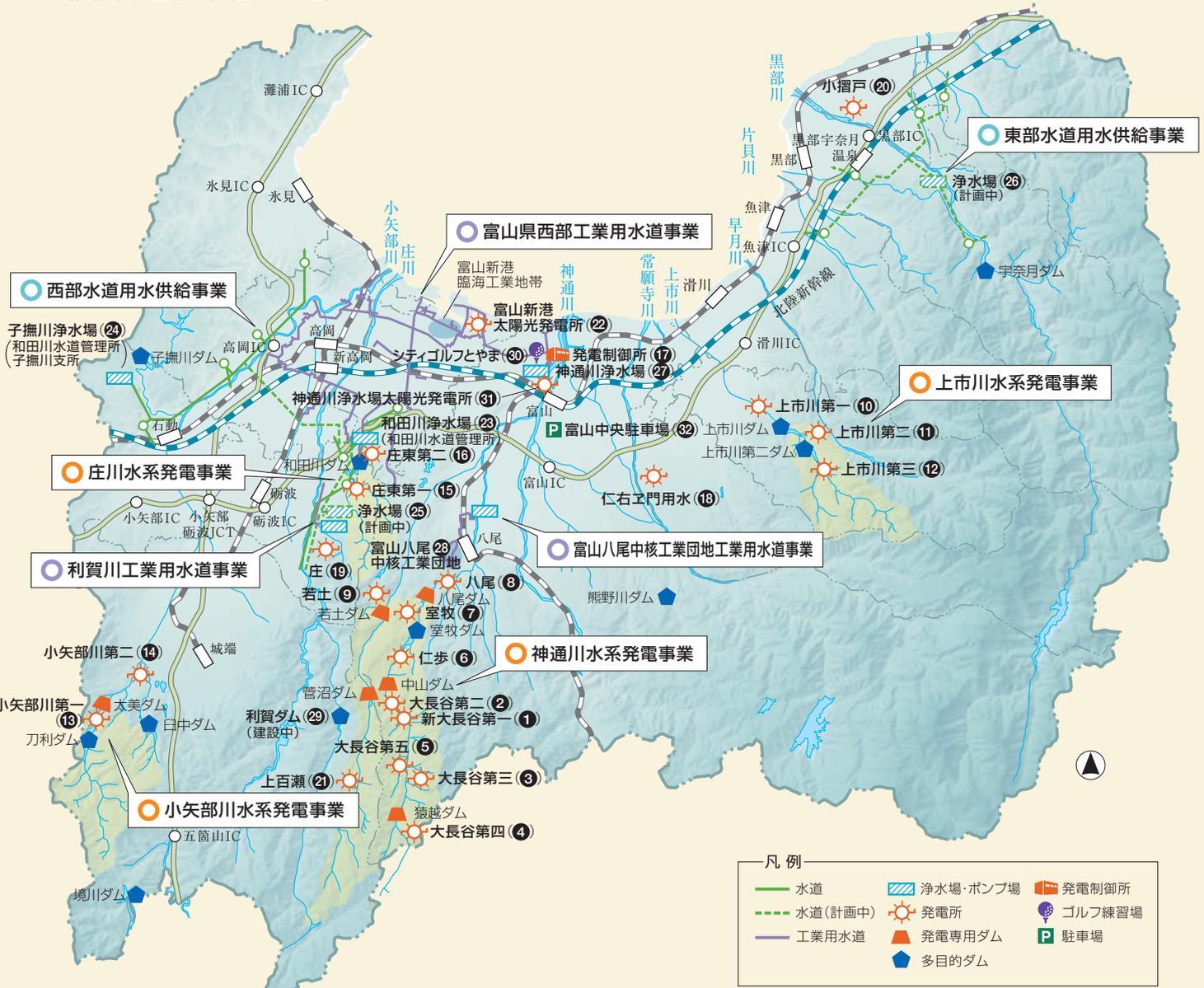
このほか老朽化した4発電所では、全面的更新(リプレース)を進めており、将来にわたる再生可能エネルギーの安定供給に努めてまいります。

また、水道事業においては平成27年より、工業用水道事業においては平成31年より、施設の耐震・老朽化対策として、管路更新工事等に取り組んでおり、長い期間を要する事業ではありますが、着実に進めていくこととしています。

企業局ではこれからも本県の恵まれた水環境等を活かした事業により、県民のみなさんの豊かな暮らしを支えてまいります。

これまで、これからも
安全で快適な暮らしを支えていきます。

〈富山県企業局 施設一覧〉



電気事業

- 神通川水系発電事業**
 - ① 新大長谷第一発電所
 - ② 大長谷第二発電所
 - ③ 大長谷第三発電所
 - ④ 大長谷第四発電所
 - ⑤ 大長谷第五発電所
 - ⑥ 仁歩発電所
 - ⑦ 室牧発電所
 - ⑧ 八尾発電所
 - ⑨ 若土発電所
- 小矢部川水系発電事業**
 - ⑩ 小矢部川第一発電所
 - ⑪ 小矢部川第二発電所
- 庄川水系発電事業**
 - ⑫ 庄東第一発電所
 - ⑬ 庄東第二発電所
- 発電制御施設**
 - ⑭ 発電制御所
- 小水力発電事業**
 - ⑮ 仁右工門用水発電所
 - ⑯ 庄発電所
 - ⑰ 小摺戸発電所
 - ⑱ 上百瀬発電所
- 太陽光発電事業**
 - ⑲ 富山新港太陽光発電所
- 上市川水系発電事業**
 - ⑲ 上市川第一発電所
 - ⑳ 上市川第二発電所
 - ㉑ 上市川第三発電所

水道事業

- 西部水道用水供給事業**
 - ⑲ 和田川浄水場 (和田川水道管理所)
 - ⑳ 子撫川浄水場 (和田川水道管理所子撫川支所)
 - ㉑ 浄水場(計画中)
- 東部水道用水供給事業**
 - ㉒ 浄水場(計画中)

工業用水事業

- 富山県西部工業用水道事業**
 - ⑲ 和田川水道管理所(和田川浄水場)
 - ㉑ 神通川浄水場
- 富山八尾中核工業団地工業用水道事業**
 - ㉒ 富山八尾中核工業団地
- 利賀川工業用水道事業**
 - ㉓ 利賀ダム(建設中)
- 附帯事業**
 - ㉔ シティゴルフとやま
 - ㉕ 神通川浄水場太陽光発電所

地域開発事業

- ㉖ 富山中央駐車場



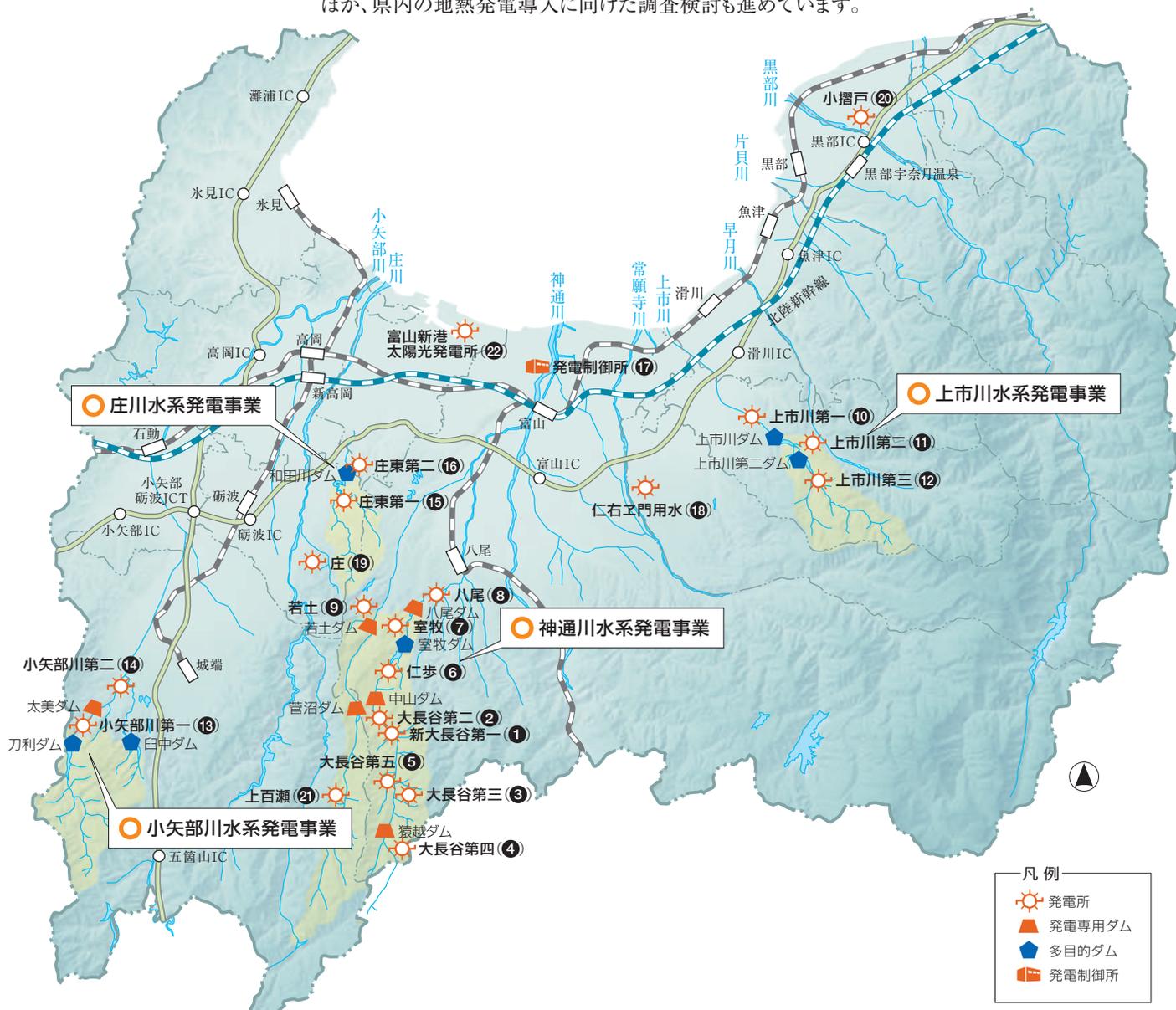
電気事業

県営電気事業は、戦後井田川総合開発の一環として開発された大長谷第一発電所が昭和30年に運転を開始したのを皮切りに、神通川、上市川、小矢部川、庄川の4水系で16発電所を稼働させてきています。

近年は、再生可能エネルギーの導入を促進するため、農業用水路や河川の未利用落差を活用した小水力発電所である仁右エ門用水発電所(H21.12)、庄発電所(H24.9)、小摺戸発電所(H27.3)、上百瀬発電所(H30.12)を稼働させたほか、富山新港太陽光発電所(H28.3)を稼働させ、合計21の発電所で、最大出力146,560kW、年間約5億kWhの発電を行っています。

また、現在老朽化の著しい大長谷第二、仁歩、若土、庄東第一の4発電所では全面的更新(リプレース)を進めており、将来の再生可能エネルギーの安定供給と供給電力量の増加を目指しています。このほか、県内の地熱発電導入に向けた調査検討も進めています。

Hydroelectric Power Generation



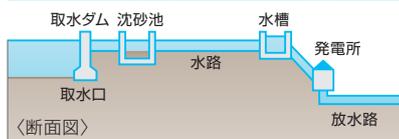
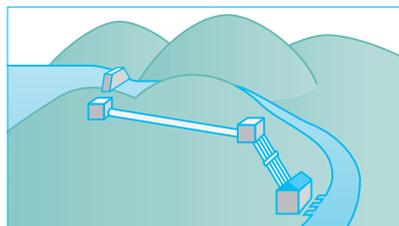
事業概要

発電所名	発電開始年月日	最大出力(kW)	取水ダム	発電形式
① 新大長谷第一発電所	H13.9.1	7,500	取水堰	水路式
② 大長谷第二発電所	S34.3.5	10,200	菅沼ダム	ダム水路式
③ 大長谷第三発電所	S56.12.18	8,000	猿越ダム	水路式
④ 大長谷第四発電所	S63.11.19	2,600	取水堰	水路式
⑤ 大長谷第五発電所	H3.8.1	1,200	取水堰	水路式
⑥ 仁歩発電所	S37.2.6	11,000	中山ダム	ダム水路式
⑦ 室牧発電所	S36.4.26	22,000	室牧ダム	ダム水路式
⑧ 八尾発電所	S38.5.29	8,100	八尾ダム	ダム水路式
⑨ 若土発電所	S57.4.24	270	若土ダム	ダム式
⑩ 上市川第一発電所	S39.3.21	4,800	上市川ダム	ダム水路式
⑪ 上市川第二発電所	S60.1.27	4,300	上市川第二ダム	ダム水路式
⑫ 上市川第三発電所	S61.11.1	4,700	取水堰	水路式
⑬ 小矢部川第一発電所	S41.4.1	12,500	刀利ダム	ダム水路式
⑭ 小矢部川第二発電所	S40.7.24	11,800	太美ダム	ダム水路式
⑮ 庄東第一発電所	S43.11.29	24,000	-	水路式
⑯ 庄東第二発電所	S43.12.14	7,400	和田川ダム	ダム式
⑰ 仁右エ門用水発電所	H21.12.25	460	-	水路式
⑱ 庄発電所	H24.9.17	190	-	水路式
⑲ 小摺戸発電所	H27.3.1	370	-	水路式
㉑ 上百瀬発電所	H30.12.1	670	取水堰	水路式
㉒ 富山新港太陽光発電所	H28.3.1	4,500	-	-

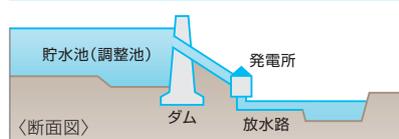
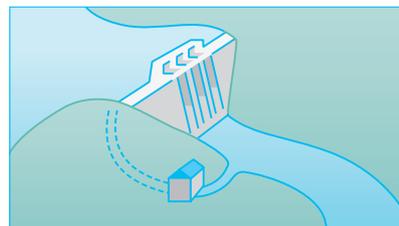
発電形式について

[水力発電]

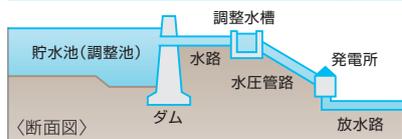
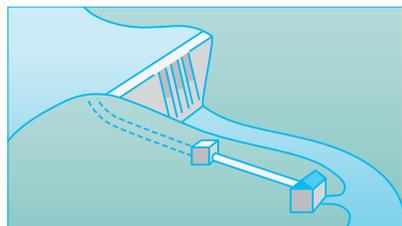
水路式 川の上流に小さな堤をつくって水を取り入れ(取水口)、長い水路で適当な落差が得られるところまで水を導き、発電する方法です。



ダム式 川幅が狭く両岸の岩が高く切り立ったような所にダムを築き、水をせき止めて人造湖を造り、その落差を利用して発電する方法です。

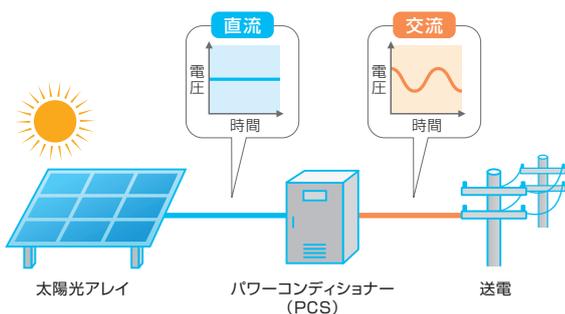


ダム水路式 ダム式と水路式を組み合わせた方式で、ダムで貯めた水を水路で下流に導き、大きな落差を利用して発電する方法です。



[太陽光発電]

太陽の光エネルギーをパネルで受けて直流の電気を発電します。この直流の電気はパワーコンディショナー(PCS)により一般に使用される交流の電気に変換され、電力会社を通じて企業や一般家庭に送られます。



富山県企業局の電力の供給規模

企業局では、20水力発電所と1つの太陽光発電所で年間約5億kWhの電気を作っています。この電力量は、約15万世帯の消費電力に匹敵します。(富山県の約1/3の世帯数と同等)

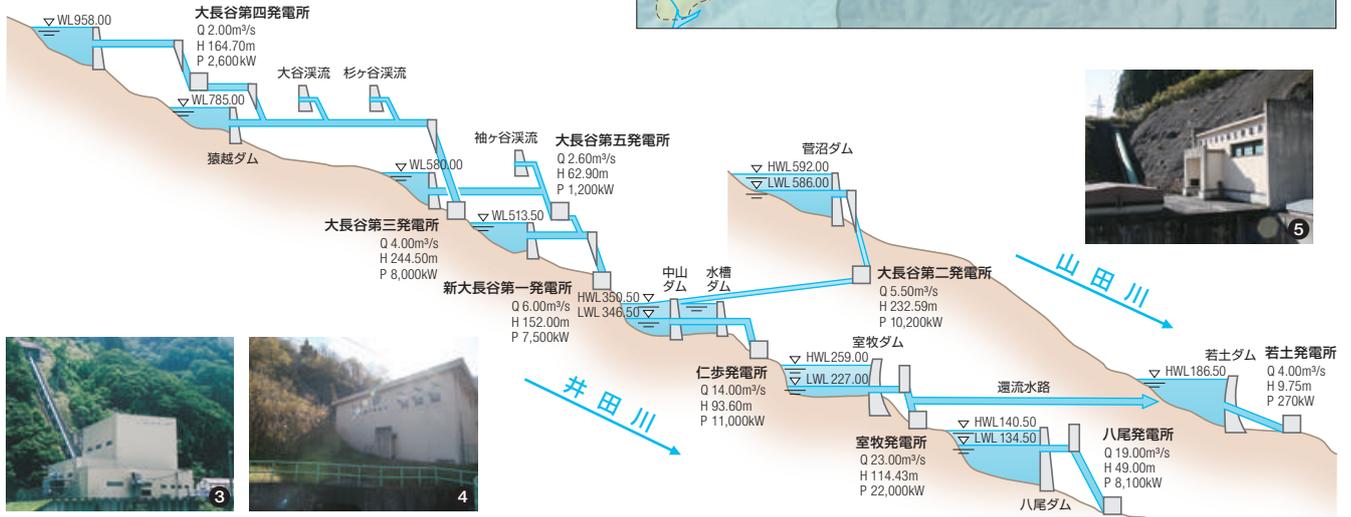


〈出典〉富山県統計年鑑(令和3年版)より算出

[事業施設の概要]

神通川水系発電事業

戦後の県営電気事業は、神通川水系の大長谷第一発電所が昭和28年に八尾町薄尾地内で建設を進め、昭和30年に運転開始したことが始まりでした。(大長谷第一発電所はリプレースし、平成13年に新大長谷第一発電所となっています。)昭和36年には室牧ダムから取水する室牧発電所が運転を開始するなど、昭和30年代までに井田川総合開発の一環として、神通川水系には5発電所を建設しました。その後、昭和50年代のオイルショックを背景に、水資源の有効活用とクリーンエネルギーの安定確保を図る観点から水力開発が再度促進され、昭和56年から平成3年までの間に、大長谷第三発電所をはじめ、平成3年運転開始の大長谷第五発電所など4箇所を建設しました。近年は再生可能エネルギー導入を促進するため、企業局としては17年ぶりとなる河川から取水する上百瀬発電所を建設し、平成30年12月から運転を開始しました。現在、神通川水系では発電所数10、最大出力71,540kWと県営電気事業の約半分の規模を占めています。現在、大長谷第二発電所、仁歩発電所、若土発電所はリプレース工事を進めています。



■発電所概要 (上百瀬発電所はP11に記載)

発電所名	新大長谷第一	大長谷第二	大長谷第三	大長谷第四	大長谷第五	仁歩	室牧	八尾	若土
位置	富山市八尾町薄尾	富山市八尾町中山	富山市八尾町滝谷	富山市八尾町切詰	富山市八尾町庵谷	富山市八尾町茗ヶ島	富山市八尾町細滝	富山市八尾町高熊	富山市山田若土
取水ダム	(取水堰)	菅沼ダム	猿越ダム	(取水堰)	(取水堰)	中山ダム	室牧ダム(土木部管理)	八尾ダム	若土ダム
発電型式	水路式	ダム水路式	水路式	水路式	水路式	ダム水路式	ダム水路式	ダム水路式	ダム式
最大出力(kW)	7,500	10,200	8,000	2,600	1,200	11,000	22,000	8,100	270
使用水量(m³/s)	6.00	-	4.00	2.00	2.60	-	23.00	19.00	-
有効落差(m)	152.00	-	244.50	164.70	62.90	-	114.43	49.00	-
水車	縦軸フランシス型 7,890kW 1台	-	縦軸ベルトン型 8,300kW 1台	横軸ベルトン型 2,770kW 1台	横軸クロスフロー型 1,270kW 1台	-	縦軸フランシス型 23,000kW 1台	縦軸フランシス型 4,250kW 2台	-
発電機	三相同期回転界磁型 8,050kVA 6,600V 1台	-	三相同期回転界磁型 8,900kVA 6,600V 1台	三相同期回転界磁型 2,800kVA 6,600V 1台	三相同期回転界磁型 1,300kVA 6,600V 1台	-	三相同期回転界磁型 25,000kVA 11,000V 1台	三相同期回転界磁型 4,600kVA 6,600V 2台	-
運転開始年月	平成13年9月	リプレース工事中	昭和56年12月	昭和63年11月	平成3年8月	リプレース工事中	昭和36年4月	昭和38年5月	リプレース工事中

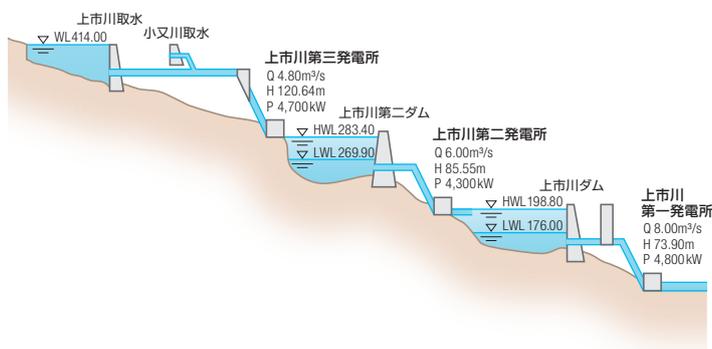
○ 上市川水系発電事業

上市川水系には、上市川総合開発計画の一環として昭和39年に建設した上市川ダムから取水する上市川第一発電所、昭和44年の局地的集中豪雨による災害を契機にその上流に昭和60年に建設した上市川第二ダムから取水する上市川第二発電所、昭和61年11月に運転開始した上市川第三発電所の3発電所があり、最大出力13,800kWの発電を行っています。



■ 発電所概要

発電所名	上市川第一	上市川第二	上市川第三
位置	上市町釈泉寺	上市町稲村	上市町東種
取水ダム	上市川ダム (土木部管理)	上市川第二ダム (土木部管理)	(取水堰)
発電型式	ダム水路式	ダム水路式	水路式
最大出力(kW)	4,800	4,300	4,700
使用水量(m ³ /s)	8.00	6.00	4.80
有効落差(m)	73.90	85.55	120.64
水車	縦軸フランシス型 2,650kW 2台	縦軸フランシス型 4,460kW 1台	横軸フランシス型 4,900kW 1台
発電機	三相同期回転界磁型 2,800kVA 6,600V 2台	三相同期回転界磁型 4,800kVA 6,600V 1台	三相同期回転界磁型 5,000kVA 6,600V 1台
運転開始年月	昭和39年3月	昭和60年1月	昭和61年11月



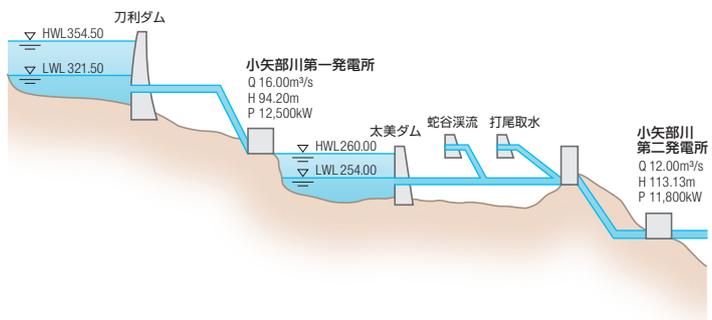
○ 小矢部川水系発電事業

小矢部川水系には、第3次富山県総合開発計画に基づき農林水産省の国営小矢部川農業水利事業により建設された刀利ダムから取水する小矢部川第一発電所と、その放水を太美ダムで逆調整し発電する小矢部川第二発電所の2発電所があり、最大出力24,300kWの発電を行っています。



■ 発電所概要

発電所名	小矢部川第一	小矢部川第二
位置	南砺市綱掛	南砺市太美
取水ダム	刀利ダム(農林水産部管理)	太美ダム
発電型式	ダム水路式	ダム水路式
最大出力(kW)	12,500	11,800
使用水量(m ³ /s)	16.00	12.00
有効落差(m)	94.20	113.13
水車	縦軸フランシス型 13,900kW 1台	縦軸フランシス型 12,150kW 1台
発電機	三相同期回転界磁型 13,900kVA 11,000V 1台	三相同期回転界磁型 12,700kVA 11,000V 1台
運転開始年月	昭和41年4月	昭和40年7月



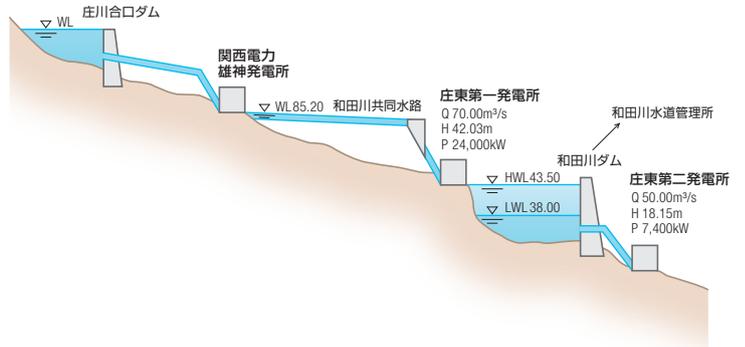
○ 庄川水系発電事業

庄川水系の電源開発は、富山・高岡地区新産業都市建設計画に基づく和田川総合開発計画の一環として始まりました。庄川から取水する関西電力雄神発電所の放水路と直結する約7kmの水路を通して取水し発電する庄東第一発電所と、下流の多目的ダム(和田川ダム)にある庄東第二発電所の2発電所があり、最大出力31,400kWの発電を行っています。現在、庄東第一発電所はリプレース工事を進めています。



■ 発電所概要

発電所名	庄東第一	庄東第二
位置	砺波市福岡	砺波市増山
取水ダム	水路式	和田川ダム(土木部管理)
発電型式	—	ダム式
最大出力(kW)	24,000	7,400
使用水量(m ³ /s)	—	50.00
有効落差(m)	—	18.15
水車	—	堅軸カプラン型 3,920kW 2台
発電機	—	三相同期回転界磁型 4,200kVA 3,300V 1台
運転開始年月	リプレース工事中	昭和43年12月



○ 発電制御所

発電制御所は、神通川、上市川、小矢部川及び庄川の4水系16発電所の運転監視制御業務を一極集中で行っています。発電所近代化事業として平成9年4月から集中制御を開始しました。



監視制御室



発電制御所

○ 小水力発電事業

● 仁右工門用水発電所



■ 発電所概要

発電所名	仁右工門用水発電所
位置	立山町東大森
用水路	常東合口用水支線「仁右工門用水路」 (常東用水土地改良区管理)
有効落差 (m)	24.48
水車	横軸単輪単流フランシス水車
管路延長	1,408m(直径1.35m FRPM管)
最大使用水量 (m ³ /s)	2.40
最大出力 (kW)	460
運転開始年月	平成21年12月

● 庄発電所



■ 発電所概要

発電所名	庄発電所
位置	砺波市庄川町庄
用水路	庄川右岸幹線用水路 (庄川沿岸用水土地改良区連合管理)
有効落差 (m)	4.55
水車	水中タービン発電機
管路延長	65.24m(直径2.0m FRPM管、鋼管)
最大使用水量 (m ³ /s)	5.40
最大出力 (kW)	190
運転開始年月	平成24年9月

● 小摺戸発電所



■ 発電所概要

発電所名	小摺戸発電所
位置	入善町福島
用水路	黒東合口用水(黒部川沿岸 土地改良区連合-北陸電力管理)
有効落差 (m)	6.3
水車	S型チューブラ水車
管路延長	658.824m(直径2.2m FRPM管、鋼管)
最大使用水量 (m ³ /s)	8.0
最大出力 (kW)	370
運転開始年月	平成27年3月

● 上百瀬発電所



■ 発電所概要

発電所名	上百瀬発電所
位置	南砺市利賀村上百瀬
河川	一級河川 神通川水系 百瀬川
有効落差 (m)	81.50
水車	横軸単輪単流フランシス水車
管路延長	2,550m(直径1.0m FRPM管, ダクタイル鑄鉄管、鋼管)
最大使用水量 (m ³ /s)	1.0
最大出力 (kW)	670
運転開始年月	平成30年12月

○ 太陽光発電事業

● 富山新港太陽光発電所



■ 発電所概要

発電所名	富山新港太陽光発電所
位置	射水市有磯地内 (富山新港臨海工業用地 石灰灰処分場A区画)
敷地面積	約69,000m ²
パネル枚数	20,592枚
パネル仕様 最大出力	255W
設置方位	真南、傾斜角20度
最大出力	4,500kW(PCS出力)
運転開始年月	平成28年3月

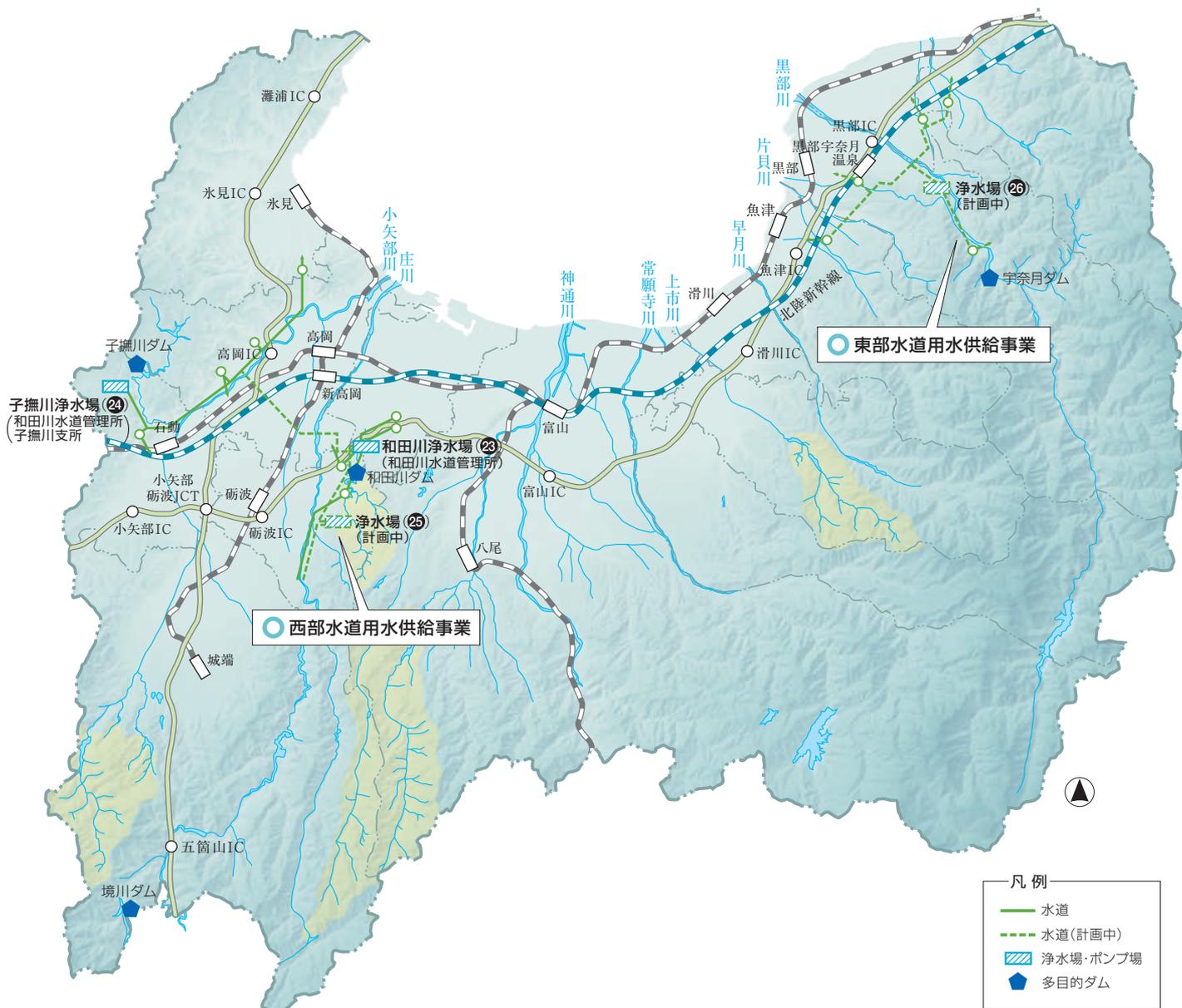


水道事業

水道用水供給事業では、県民の生活水準の向上などによる生活用水の需要に対応し、また地下水の大量汲み上げによる地下水位の低下、枯渇化、水質悪化等の障害が発生していることなどに対応するため、河川表流水を水源として、広域的に水道水を安定供給しています。

西部水道用水供給事業では、高岡市、射水市、氷見市及び小矢部市に対し、和田川、子撫川及び境川の3つのダムから供給しています。和田川浄水場は日量75,000m³、子撫川浄水場は日量60,000m³の給水能力を有し、4市へ給水しています。

Water Service



事業概要

令和5年4月1日現在

事業名	西部水道用水供給事業			東部水道用水供給事業 ^{※2}				
河川名等	和田川・境川	境川	子撫川	黒部川				
計画給水量 (m ³ /日)	75,000	115,000	60,000	54,000				
現在給水能力 (m ³ /日)	75,000	—	60,000	—				
現在給水量 (m ³ /日)	70,292	—	32,392	—				
給水開始年月	S43.7	未定	S54.4	未定				
総事業費 (百万円)	59,099			15,041				
水源内容	ダム名	和田川ダム ^{※1}	境川ダム ^{※1}	子撫川ダム				
	ダム型式	重力式コンクリート	重力式コンクリート	ロックフィル				
	事業主体	富山県	富山県	富山県				
	全体事業費 (百万円)	828	38,497	5,999				
	工期 (年度)	S38~S42	S51~H5	S47~S53				
	水道負担率 (%)	8.15	21.9	29.6				
	水道負担額 (百万円)	68	8,431	1,776				
	水道負担額 (百万円)	68	8,431	1,776				
給水区域	給水区域	高岡市	条例料金	85,000	現在給水量	12,098	計画給水量	魚津市 18,000
		射水市	精算料金	40,000	40,000	黒部市 22,000		
			条例料金	50,000	10,292	入善町 8,000		
		氷見市	精算料金	20,000	20,000	朝日町 6,000		
			条例料金	30,000	15,475			
		小矢部市	条例料金	25,000	4,819			
計		250,000	102,684	計 54,000				
浄水場	浄水場名等	和田川浄水場	—	子撫川浄水場	—			
	所在地	高岡市島新137	—	小矢部市森屋100	—			
	施設面積	土地	39,787m ²	—	28,478m ²	—		
		施設	1,280m ²	—	2,260m ²	—		

※1 和田川浄水場の水源は境川ダムであり、和田川ダムでは水量調整を行っている。

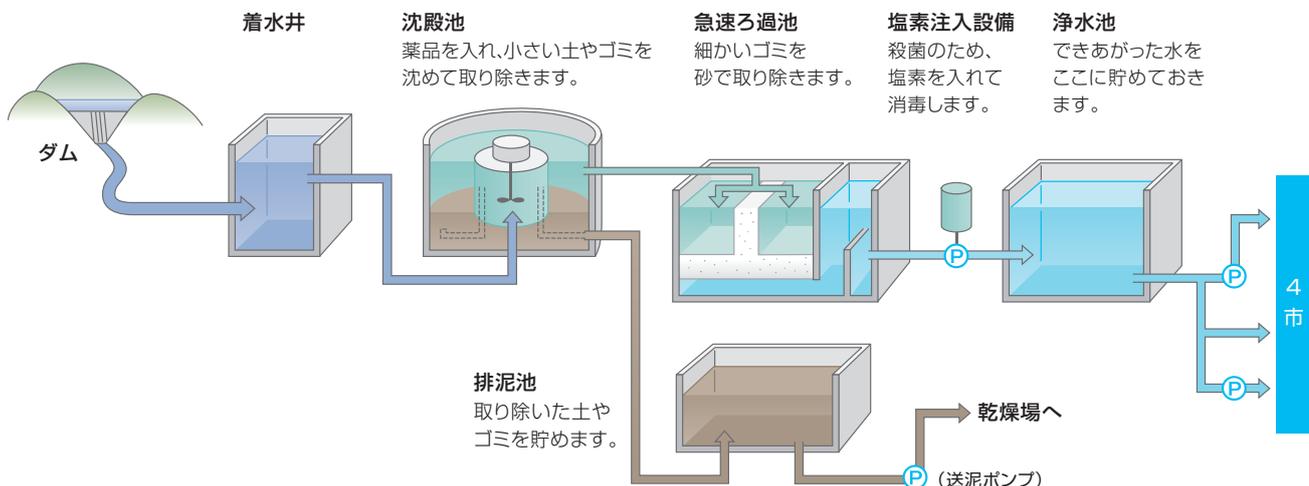
※2 県東部の魚津市、黒部市、入善町及び朝日町における将来の水需要に対処するために供給しようとするもの。

富山県企業局の水道用水の供給規模

和田川浄水場と子撫川浄水場では、500mlのペットボトルで換算すると、毎日、2億本もの水を作っています。



浄水処理過程



西部水道用水供給事業

西部水道用水供給事業は、県西部の高岡市、射水市、水見市及び小矢部市における水需要に対処するため、境川ダムとその水を調整する和田川ダム、子撫川ダムにより日量250,000㎥の水道を供給しようとするものです。現在、和田川浄水場で日量75,000㎥、子撫川浄水場で日量60,000㎥の浄水施設が稼働しており、各市へ供給しています。

■事業概要

河川名等	和田川・境川	境川	子撫川
浄水場名	和田川	—	子撫川
所在地	高岡市島新	—	小矢部市森屋
計画給水量(㎥/日)	75,000	115,000	60,000
現在給水能力(㎥/日)	75,000	—	60,000
給水開始年月	昭和43年7月	未定	昭和54年4月
ダム名	和田川ダム	境川ダム	子撫川ダム
ダム型式	重力式コンクリート	重力式コンクリート	ロックフィル
事業主体	富山県	富山県	富山県
工期(年度)	S38～S42	S51～H5	S47～S53
給水区域及び計画給水量(㎥/日)		高岡市 125,000 射水市 70,000 水見市 30,000 小矢部市 25,000 計 250,000	



和田川ダム



和田川浄水場 23



子撫川ダム



子撫川浄水場 24



境川ダム



東部水道用水供給事業

東部水道用水供給事業は、県東部の魚津市、黒部市(旧宇奈月町含む)、入善町及び朝日町における将来の水需要に対処するため、恒久水源を国土交通省直轄の宇奈月ダムに求め、日量54,000m³の水道用水を供給しようとするものです。

■事業概要

河川名等	黒部川
浄水場名	—
所在地	—
計画給水量(m ³ /日)	54,000
現在給水能力(m ³ /日)	—
給水開始年月	—
水ダム名	宇奈月ダム
水源ダム型式	重力式コンクリート
事業主体	国土交通省
内容	工期(年度)
	S54~H13
給水区域及び計画給水量(m ³ /日)	魚津市 18,000 黒部市 22,000 入善町 8,000 朝日町 6,000 計 54,000



宇奈月ダム

老朽化した管路の耐震化対策

富山県企業局の水道事業と工業用水道事業は、ともに昭和40年代に、送水を開始しました。そのため施設には老朽化したものもあり、壊れて使えなくなる前に新しいものに取り替えなければなりません。特に、水を送る管路は一番古いもので50年以上が経過し、また、大きな地震が起これば破損する管も一部にあります。そのため、富山県企業局では、水道事業は平成27年度から、工業用水道事業は平成28年度から、管路の更新を行っています。長い期間を要しますが、県民の生活を守り、地域の産業を支えるため、着実に進めていきます。



漏水の修理



新しい管の敷設



工業用水道事業

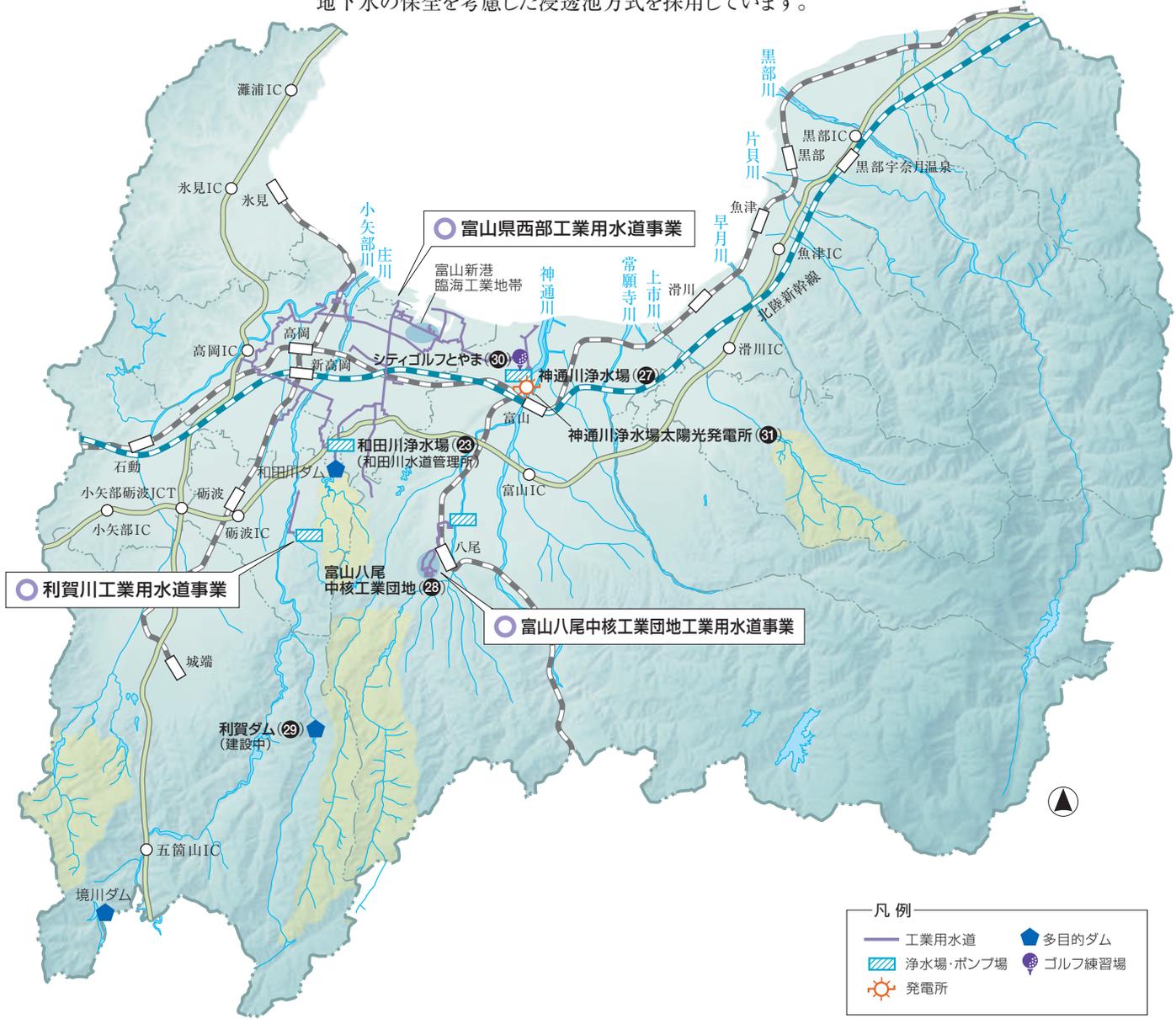
工業用水道事業は、良質で低廉豊富な工業用水を、地域の企業等へ工業用水として安定的に供給するとともに、附帯事業としてゴルフ練習場と太陽光発電所の経営を行っています。

富山県西部工業用水道事業は、境川ダム(庄川)を水源とする和田川浄水場で、高岡・射水地区の工場などへ給水を行っています。

富山八尾中核工業団地工業用水道事業は、地下水を水源に計画給水日量7,000m³で八尾中核工業団地(富山市)の工場などへ給水を行っています。

利賀川工業用水道事業は、計画給水日量8,200m³で砺波市の工場に給水を行っています。この事業では、浄水コストの削減と地下水の保全を考慮した浸透池方式を採用しています。

Industrial Water



事業概要

令和5年4月1日現在

事業名	富山県西部工業用水道事業		富山八尾中核工業団地工業用水道事業	利賀川工業用水道事業	
河川名等	和田川・境川		神通川 ^{※2}	地下水	利賀川
計画給水量 (m ³ /日)	400,000		7,000	8,200	
現在給水能力 (m ³ /日)	400,000		6,125	8,200	
現在給水量 (m ³ /日)	192,637		5,991	5,200	
給水開始年月	S46.7		S59.10	H16.12	
総事業費 (百万円)	46,291		1,050	2,050	
水源内容	ダム名	和田川ダム ^{※1}	境川ダム ^{※1}	—	利賀ダム(建設中)
	ダム型式	重力式コンクリート	重力式コンクリート	—	重力式コンクリート
	事業主体	富山県	富山県	—	国土交通省
	全体事業費 (百万円)	828	38,497	—	164,000
	工期 (年度)	S38~S42	S51~H5	—	H5~R13
	工水負担率 (%)	50.88	31.0	—	0.66
	工水負担額 (百万円)	421	11,934	—	1,082
給水区域	富山市 高岡市 射水市		富山市 (富山八尾中核工業団地)	砺波市	
浄水場	浄水場名等	和田川浄水場	神通川浄水場	八尾中核取水・送水ポンプ場	浸透池 配水場
	所在地	高岡市島新137	富山市松木639-1	富山市八尾田中	砺波市安川
	施設面積	52,082.53m ²	69,271.08m ²	4,364.52m ²	4,014.01m ² 1,971.25m ²
	土地	2,815.06m ²	2,105.75m ²	379.83m ²	2,707m ² 315m ²

※1 和田川浄水場の水源は境川ダムであり、和田川ダムでは水量調整を行っている。※2 現在休止中

附帯事業

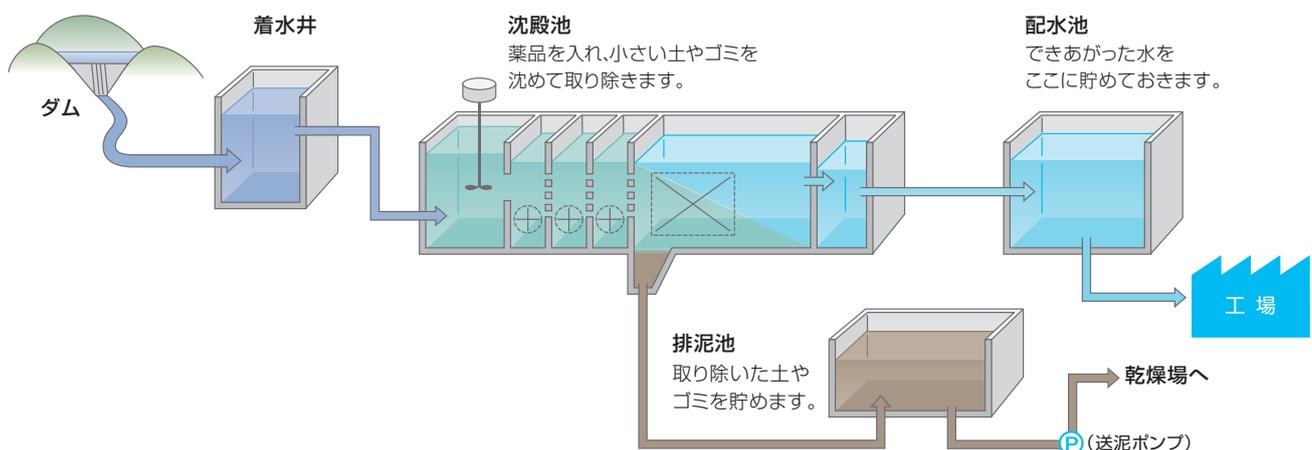
事業名	ゴルフ練習場事業	神通川浄水場太陽光発電所事業
概要/規模	64打席 内左右兼用2打席 全打席オートティアップシステム	1,750kW (太陽光パネル7,248枚)
所在地	富山市松木地内	富山市松木地内

富山県企業局の工業用水道用水の供給規模

和田川浄水場などで、500mlのペットボトルで換算すると、毎日、4億本もの水を作り、県内の96事業所(R5.4.1現在)に工業用水を送っています。



浄水処理過程



富山県西部工業用水道事業

富山県西部工業用水道事業は、富山市、高岡市、射水市の企業に計画給水日量400,000m³の工業用水を供給しています。この事業は、新産業都市建設計画に基づく富山新港背後地の臨海工業地帯造成に伴う産業基盤整備を図るため、和田川工業用水道事業として始められ、昭和46年7月から一部給水を開始しました。さらに、この事業の補完給水と富山地区の工業地帯への給水のために、神通川工業用水道事業を実施してきました。その後、管理運営の合理化を図るため、平成10年10月に統合し、富山県西部工業用水道事業に名称を改め現在に至っています。



埋める前の工業用水管



断水しないで管路を接続する工事



漏水復旧工事

工業用水を送っている管路は、ほとんど地中に埋まっており、絶え間なく水を工場などへ送っています。古いものでは、40年以上埋まっているため、漏水することがあり、その復旧工事は昼夜を徹して行われることがあります。また、道路工事等に伴い、移設するときは、断水しないで古い管と新しい管を接続します。

■事業概要

浄水場名	和田川	神通川
所在地	高岡市島新	富山市松木
計画給水量(m ³ /日)	300,000	100,000
現在給水能力(m ³ /日)	300,000	100,000
給水開始年月	昭和46年7月	
ダム名	和田川ダム	境川ダム
ダム型式	重力式コンクリート	重力式コンクリート
水源	神通川	
事業主体	富山県	表流水
工期(年度)	S38~S42	S51~H5
給水区域	富山市 高岡市 射水市	

富山八尾中核工業団地工業用水道事業

富山八尾中核工業団地工業用水道事業は、富山テクノポリス計画の中核をなす先端技術産業の企業立地が進められている富山八尾中核工業団地への立地企業に工業用水を供給することを目的に、地下水を水源として計画給水日量7,000m³の工業用水を供給するもので、昭和57年度から事業に着手し、昭和59年10月から一部給水(現在給水能力は日量6,125m³)を開始しています。



■事業概要

浄水場名	八尾中核 取水・送水ポンプ場
所在地	富山市八尾町田中
計画給水量(m ³ /日)	7,000
現在給水能力(m ³ /日)	6,125
給水開始年月	昭和59年10月
水源	地下水
給水区域	富山八尾中核工業団地

利賀川工業用水道事業

利賀川工業用水道事業は、砺波地域の産業発展のため工業用水を確保することを目的に、その水源を国土交通省が平成5年度から建設を進めている利賀ダムに求め、計画給水日量8,200m³の工業用水を供給しようとするもので、平成13年度に事業に着手し、平成16年12月から給水を開始しています。



浄水場(浸透池)

■事業概要

浄水場名	浸透池、配水場
所在地	砺波市安川
計画給水量(m ³ /日)	8,200
現在給水能力(m ³ /日)	8,200
給水開始年月	平成16年12月
ダム名	利賀ダム(建設中)
ダム型式	重力式コンクリート
事業主体	国土交通省
工期(年度)	H5~R13
給水区域	砺波市

○ 附帯事業

● ゴルフ練習場事業

富山県ゴルフ練習場（シティゴルフとやま）は、未利用地の活用を図るため神通川浄水場の敷地内において営業しています。この練習場は、全面天然芝の300ヤードのフェアウェイを有しており、全64打席にオートティアップ・システムを導入しています。平成24年度からは指定管理者制度を導入し、経営の効率化に取り組んでいます。



■ 事業概要

所在地	富山県松本市松木573-2
施設概要	打席数：64打席（1F32打席、2F32打席） 左右兼用2打席 フェアウェイ：300ヤード クラブハウス：更衣室、会議室 駐車場：100台
営業開始年月	平成3年7月
営業時間	季節により変更することがありますので、HPでご確認ください。



● 神通川浄水場太陽光発電所

神通川浄水場太陽光発電所は、運転休止中の浄水場の施設を活用した工業用水道事業の附帯事業として、再生可能エネルギー固定価格買取制度を活用し、平成26年3月から全量売電しています。



■ 発電所概要

発電所名	神通川浄水場太陽光発電所
位置	富山県松本市
発電出力規模	1,750kW（パネル7,248枚）
年間発電電力量	239.4万kWh
運転開始年月	平成26年3月



Parking Garage

地域開発事業

地域開発事業では、県の総合交通施策の一環として富山中央駐車場の経営を行っています。富山中央駐車場は富山市役所隣に地上6階7層、232台収容、自走式の駐車場として営業しており、平成24年度からは指定管理者制度を導入し、経営の効率化に取り組んでいます。

○ 富山中央駐車場



■ 事業概要

	富山中央駐車場
所在地	富山市新桜町6-4
施設概要	鉄骨造6階7層
営業開始年月	平成4年6月
収容台数	232台
営業時間	24時間

富山中央駐車場 ホームページ



SDGsと企業局の取組みの関係

企業局は、各事業の取組みを通じてSDGsのゴールの達成に貢献します。

(主に、以下のゴールの達成に貢献します。)

○ 各事業共通

8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	11 住み続けられるまちづくりを	13 気候変動に具体的な対策を
--------------	-------------------	------------------	-----------------

○ 電気事業

7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに

○ 水道事業 ○ 工業用水道事業

3 すべての人に健康と福祉を	6 安全な水とトイレを世界中に
----------------	-----------------



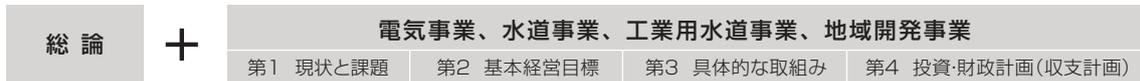
富山県企業局経営戦略の概要

富山県企業局では、経営基盤強化と財政マネジメントの向上を図ることを目的とした「富山県企業局経営戦略」を平成29年3月に策定しましたが、策定から5年経過する中間年に、計画の進捗状況を分析評価するとともに、新たな環境変化も踏まえ、令和4年7月に改定しました。

I 総論

1 計画期間 平成29年度から令和8年度までの10年間(現行計画に同じ)

2 経営戦略の構成



3 経営環境の変化と課題 (※①～④はこれまでも挙げていた課題。⑤～⑧を追加)

- | | |
|-----------------------|---------------------------|
| ① 人口減少に伴うサービス需要の減少 | ⑤ 脱炭素化(カーボンニュートラル)の要請 |
| ② 施設・設備の老朽化に伴う更新需要の増大 | ⑥ ICTやIoT等の技術革新、DXの推進 |
| ③ 電力システム改革の進展 | ⑦ 大規模災害の頻発化など災害リスクの高まり |
| ④ 人材の確保と育成 | ⑧ SDGsの達成など新たな視点を踏まえた地域貢献 |

4 経営方針

新技術や民間活力等も積極的に活用し、時代の変化に機敏に対応しながら必要な見直しや改革を進めるとともに、「県民のくらしと共に」を念頭に「真の幸せ(ウェルビーイング)」の向上に貢献

(基本的考え方)

- | | |
|---------------------------------|-----------------------------|
| ① 効率的な事業の実施による健全経営の確保と新たな課題への挑戦 | 先端技術を活用した効率性の高い設備の導入など |
| ② 県民福祉の向上・地域産業振興等への貢献 | 雇用促進等の地域貢献、市町村・関係機関等との連携・調整 |
| ③ 県民にオープンで親しみ易い事業の推進 | 事業内容や経営状況等の積極的な情報発信や広報活動 |

II 各事業の経営戦略



	主な課題	経営目標・主な取組み
電気	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 電力システム改革への対応 ◇ 施設・設備の計画的な更新・修繕 ◇ 脱炭素社会(カーボンニュートラル)の実現に向けた取組みの推進 ◇ ICT等先端技術の活用、DXの推進 	<p>電力の安定供給と再生可能エネルギーの拡大</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 安定収入の確保と新たな地域貢献策の検討 2 FIT制度を活用した発電所のリプレースによる収益拡大 3 最新技術の導入による発電能力の増やCO₂削減 4 地熱資源の調査・研究 5 CO₂削減に取り組む事業所への「とやま水の郷でんき」の提供及びPR 6 スマート保安の推進、AI等による故障予兆診断システムの導入検討
水道	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 水供給・水質管理体制等の強化 ◇ 人口減少等に伴う料金収入の減少 ◇ 施設の耐震・老朽化への対応 	<p>安全・安心な水道用水の安定供給</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 水安全計画に基づく水質管理 2 西部水道条例料金を「二部料金制」に改正 3 耐震適合性のない管路の優先的な更新 4 和田川導水トンネルの複線化に向けた調査、検討 5 未活用資産の暫定的活用の検討
工業用水道	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 工業用水需要の変化 ◇ 施設の耐震・老朽化への対応 ◇ ICT等の先端技術の活用 	<p>災害に強く低廉で質の高い工業用水の供給</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 新規ユーザーの開拓 2 管路更新計画を見直し、重要管路の整備前倒し 3 工業用水の安定供給に向けた管路の複線化等の整備を検討 4 民間を活用した発注方法の導入 5 IoT等の技術活用による工業用水道管路管理システムの構築
地域	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 収入の確保と経営の安定 ◇ 施設の廃止・譲渡の検討 	<p>事業の効率的な実施による営業の維持</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 収入の維持と安定収入の確保 2 駐車場のあり方について、活用策を検討
共通	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 人材の確保と育成 	<ol style="list-style-type: none"> 1 より若い世代を対象としたSNSでの動画配信

[富山県企業局 沿革]

	組織（本局）	電気事業	水道事業
大正 9 (1920)	■ 電気局の設置	■ 県営水力電気事業計画が臨時県議会で可決 ■ 付帯事業の鉄道事業営業開始 ■ 鉄道事業の全線開通 ■ 上滝・松ノ木・中地山発電所運転開始	
昭和 5		■ 真川発電所運転開始	
7		■ 小見発電所運転開始	
8		■ 称名川第二発電所運転開始	
11		■ 愛本発電所運転開始	
17		■ 7発電所と3送電線を日本発送電(株)へ出資・譲渡	
28	■ 土木部河港課に電気事業係新設		
30	■ 土木部に電力開発室新設	■ 大長谷第一発電所運転開始	
32	■ 電気局発足(本局は、総務・土木・電気)	■ 電気事業に地方公営企業法全面適用	
33	■ 本局に渉外課新設		
34		■ 大長谷第二発電所運転開始	
36		■ 室牧発電所運転開始	
37		■ 仁歩発電所運転開始	
38		■ 八尾発電所運転開始	
39		■ 上市川第一発電所運転開始	■ 総合計画部が水道事業・
40		■ 小矢部川第二発電所運転開始	
41		■ 小矢部川第一発電所運転開始	
42			■ 電気局が水道事業、工業用水道事業を引き継ぐ
43		■ 庄東第一発電所運転開始 庄東第二発電所運転開始	■ 和田川ダム完成(県土木部) ■ 水道事業・工業用水道事業に地方公営企業法全面適用 和田川水道用水一部給水開始 ■ 和田川水道用水供給事業第一期計画完成
44			
45	■ 企業局に改組 (本局は総務・企画調査・土木・水道・電気)		
46			
47	■ 本局を森林水産会館に移転		
48			
49			■ 西部水道用水供給事業計画認可 熊野川水道用水供給事業に着手(ダム建設参加)
50			■ 和田川水源水道事業全施設完成
51	■ 事業部制を導入し、各課に業務係新設 (本局は総務・開発・水道・工業用水・電気)	■ 発電所近代化施設工事 (水系毎集中制御方式)に着手	
52		■ 小矢部川水系及び井田川水系 発電所設備近代化事業完成	■ 子撫川ダム完成(県土木部) 子撫川水源水道事業給水開始
53			■ 東部水道用水供給事業に着手(ダム建設参加)
54	■ 水道課、工業用水課を土木水道課に統合		
55			
56		■ 大長谷第三発電所運転開始	
57	■ 本局に上市川水系発電所建設室を新設	■ 若土発電所運転開始	
58	■ 開発課を総務課に吸収		
59			■ 熊野川ダム完成(県土木部)
60		■ 上市川第二発電所運転開始	
61	■ 上市川水系発電所建設室を 発電所建設室に改組	■ 上市川第三発電所運転開始	
62			
63		■ 大長谷第四発電所運転開始	
平成 3	■ 発電所建設室を企画開発室に改組	■ 大長谷第五発電所運転開始	
4			
5			■ 境川ダム完成
6	■ 本局を北日本スクエアに移転	■ 発電所近代化事業(一極集中制御方式)に着手	
7		■ 発電総合制御所を新設	
8		■ 発電総合制御所一部運転開始	
9		■ 発電総合制御所運転開始	
10		■ 発電所近代化事業完成	
11	■ 土木水道課を水道課に改組	■ 新大長谷第一発電所建設着工	
12		■ 井田川水系のダム近代化事業完成	
13		■ 小矢部川水系のダム近代化事業完成 新大長谷第一発電所運転開始	■ 宇奈月ダム完成(国土交通省)
16			
17			
18			■ 和田川水道管理所に新浄水池完成
19			
20		■ 発電管理所体制の統合(4水系、1発電管理所1支所)	
21		■ 仁右工門用水発電所運転開始	■ 熊野川ダム施設改良事業に着手(県土木部)
22			■ 水道管理所の統合(1水道
23			
24		■ 庄発電所運転開始	
25	■ 電気課業務係を電気課企画開発係に改組	■ 発電総合制御所を発電制御所に、 発電総合管理所を発電管理所に改組	■ 和田川総合水道管理所を
26			
27		■ 小摺戸発電所運転開始	
28	■ 電気課企画開発係を 電気課新エネルギー開発班に改組	■ 富山新港太陽光発電所運転開始	■ 熊野川水道用水供給事業の廃止
29			
30		■ 上百瀬発電所運転開始	
令和 2	■ 県営電気事業100周年 企業局改組50周年	■ 若土発電所リブレース着手	■ 二部料金制の導入
3			
4			
5	■ 水道課に機能維持推進班を新設	■ 庄東第一発電所リブレース着手 ■ 大長谷第二発電所リブレース着手 ■ 仁歩発電所リブレース着手	

工業用水道事業	地域開発事業	富山県の歩み	
		<ul style="list-style-type: none"> 第1回国勢調査(県人口72万) 郡制廃止 	大正 9 (1920) 10 12 13
		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;"> 昭和 11 ■ 日満産業大博覧会 20 ■ 戦災/終戦 27 ■ 富山県総合開発計画 29 ■ 富山産業大博覧会 </div>	昭和 5
工業用水道事業に着手		<ul style="list-style-type: none"> 国鉄富山駅竣工 第13回国体夏季・秋季大会開催 「富山県勢総合計画」 富山空港開港 富山・高岡地区が新産業都市に指定 「第3次富山県勢総合計画」 富山新港開港 第20回全国植樹祭 「第4次富山県勢総合計画」 「住みよい富山県をつくる総合計画」 第31回国体冬季大会「おおよま国体」開催 北陸自動車道、富山・米原間開通 「富山県民総合計画」県置100年記念式典 にっぽん新世紀博 新富山空港開港 北陸自動車道全線開通 	17 28 30 32 33 34 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63
<ul style="list-style-type: none"> 和田川工業用水道一部給水開始 神通川工業用水道事業に着手 和田川工業用水道事業全給水施設完成 神通川工業用水道事業給水開始 富山八尾中核工業団地工業用水道事業に着手 富山八尾中核工業団地工業用水道事業一部給水開始 道路消雪融雪水給水開始 神通川工業用水道事業計画変更 ゴルフ練習場営業開始 	<ul style="list-style-type: none"> 地域開発事業に着手 駐車場、スキー場の実地調査に着手 富山駐車場営業開始 スキー場営業開始 高岡駐車場営業開始 スキー場ナイター設備新設 立山山麓3スキー場リフト券の共通化 富山中央駐車場営業開始 スキー場施設を富山市へ譲渡 高岡駐車場を高岡市へ譲渡 富山駐車場及び富山中央駐車場に指定管理者制度を導入 富山駐車場の廃止 		
(県土木部)		<ul style="list-style-type: none"> 「新富山県民総合計画」第1回ジャパンエキスポ富山開催 第13回全国都市緑化とやまフェア 第11回国民文化祭とやま'96開催 「2000年とやま国体」冬季大会 「2000年とやま国体」夏季・秋季大会開催 市町村合併(砺波市、南砺市) 市町村合併(富山市、高岡市、射水市) 東海北陸自動車道の全線開通 置県130年 北陸新幹線開業 第35回全国豊かな海づくり大会 第68回全国植樹祭 第31回全国健康福祉祭とやま大会開催 「とやま・なんと国体2020」冬季大会開催 第6回全国小水力発電大会 G7富山・金沢教育大臣会合 第18回食育推進全国大会 	平成 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30
管理所1支所) <ul style="list-style-type: none"> ゴルフ練習場に指定管理者制度を導入 和田川水道管理所に改組 神通川浄水場太陽光発電所運転開始 			
			令和 2 3 4 5

富山県企業局

〒930-0094 富山市安住町2番14号 北日本スクエア北館
ホームページ <https://www.pref.toyama.jp>

経営管理課	TEL076-444-2136	FAX076-444-2154
電気課	TEL076-444-2146	FAX076-444-2155
水道課	TEL076-444-2141	FAX076-444-2155
発電制御所	TEL076-444-6150	FAX076-444-7344
	〒930-2211 富山市宮尾2190-3	
発電管理所	TEL076-455-2550	FAX076-455-3452
	〒939-2474 富山市八尾町須郷1386-2	
発電管理所 小矢部川支所	TEL0763-55-1124	FAX0763-55-1113
	〒939-1761 南砺市太美77	
和田川水道管理所	TEL0766-36-0293	FAX0766-36-1132
	〒939-1263 高岡市島新137	
和田川水道管理所 子撫川支所	TEL0766-68-1282	FAX0766-68-1294
	〒932-0002 小矢部市森屋100	
県営富山中央駐車場	TEL076-444-8451	FAX076-444-8453
	〒930-0005 富山市新桜町6-4	
県ゴルフ練習場 (シティゴルフとやま)	TEL076-444-5090	FAX076-444-5099
	〒930-2213 富山市松木573-2	

企業局ホームページ

